

一般社団法人飯塚青年会議所 2026 年度 基本方針

総務広報例会委員会
委員長:草田成吉

【事業計画】

- 厳粛かつ有意義な式典の企画・設営・実施

【年間事業フレーム】

No.8

(理想像)

1. 一般社団法人飯塚青年会議所(以下、飯塚 JC)メンバー全員が例会プロトコルの知識を身につけ、誰が担当しても厳粛に式典運営が可能な体制にすることを目指します。
2. 例会式典への関心が高まり続けている状態を目指します。

(調査・研究方針)

理想像 1 に近づくための調査方針

1. 例会プロトコルの知識と式典における厳粛を理解しているかを知るため、飯塚 JC 関係者にヒアリングを行います。
2. 厳粛かつ有意義な式典を実施するため、例会プロトコルの調査及び過去から現在に至る式典の変遷について、飯塚 JC 関係者にヒアリングを行います。
3. 例会プロトコルの周知方法について調査を行います。
4. 1~3 の調査結果に基づき、例会プロトコルと式典の厳粛さの周知を図る活動を行います。

理想像 2 に近づくための調査方針

1. 例会式典に対して関心を持っているかを知るために、飯塚 JC 関係者にヒアリングを行います。
2. 調査結果に基づき、どのようにすれば関心を持ってもらうか、またどのようにすれば関心が高まり続けるかを、他 LOM(青年会議所)にヒアリングを行います。
3. 1 と 2 の調査結果に基づき、例会式典への関心を高めるための活動を行います。

【事業計画】

- 厳粛かつ厳正な総会計画・工夫を凝らした動員・設営・実施

【年間事業フレーム】

No.9

(理想像)

総会への 100%出席を目指します。

(調査・研究方針)

1. 現状把握の調査として、過去の総会における出席率・委任状提出率・定足数確保の状況を分析します。
2. 総会出席率、委任状の有無や行使比率、リモート開催の有無、出席率向上のための取り組みなどを知るために、他 LOM(青年会議所)にヒアリングを行います。
3. 総会を義務と見ているか、意義ある場と捉えているか、出席をためらう心理要因(発言しづらさ・議題理解不足等)、厳粛さ・厳正さの理解、最高決定機関の認識を把握するため、飯塚 JC 関係者にヒアリングを行います。
4. 現在の開催時間は適切か、オンライン参加やハイブリッド開催の導入が求められているか、例会と同日の開催が有効か、内容理解を助ける説明資料の有無、総会の長さ(時間が長引くことによる負担感)などの環境要因を知るために、飯塚 JC 関係者にヒアリングを行います。
5. 1~4 の調査データに基づき、総会の 100%出席を目指す活動を行います。

【事業計画】

- 飯塚 JC の魅力を発信！SNS や HP による広報活動

【年間事業フレーム】

No.32

(理想像)

対内:

広報でメンバーの魅力と想いを共有し、JC 活動への参加意欲が高まることを目指します。

対外:

地域の方に、飯塚 JC の活動と人柄を伝え、親しみやすく、信頼できる存在として共感してもらい、その共感を応援・協力や事業参加につなげることを目指します。

(調査・研究方針)

対内の理想像に近づくための調査方針

1. 現在の SNS フォロワーを JC 関係者とその他(地域住民・企業・行政)に分け、現状のフォロワーの割合を、資料(2025 年度総務渉外委員会 SNS による活動・運動・事業の発信報告について報告資料)に基づき調査を行います。
2. 飯塚 JC の広報を見ている・見ていない、未閲覧者には見ない理由・見る気になる条件、未フォロー者にはフォローしていない理由を把握するために、飯塚 JC 関係者にヒアリングを行います。
3. どのように広報すれば見てもらえるか、どのようにすれば飯塚 JC の魅力をメンバーに伝えることができるの

か、検証方法を他 LOM(青年会議所)にヒアリングを行います。

4. 1~3 の調査結果に基づき、メンバーに広報を通じて活動意欲が高まるように広報活動を行います。

対外の理想像に近づくための調査方針

1. 現在の SNS フォロワーを JC 関係者とその他(地域住民・企業・行政)に分け、現状のフォロワーの割合を、資料(2025 年度総務渉外委員会 SNS による活動・運動・事業の発信報告について報告資料)に基づき調査を行います。

2. 飯塚市、嘉麻市、桂川町(以下、2 市 1 町)の地域住民・企業・行政にどのように広報すれば見てもらえるか、どのようにすれば飯塚 JC の魅力を伝えられるのか、地域住民のフォロワー数を増やすにはどうすれば良いか、検証方法を他 LOM(青年会議所)にヒアリングを行います。

3. 1~2 の調査結果に基づき応援や協力、事業参加につながるよう広報活動を行います。

【他事業計画】

●2 月合同例会の企画・工夫を凝らした動員・実施

【年間事業フレーム】

No.12

●飯塚 JC 全体で取り組む会員拡大

No.31

●飯塚 JC で支える山笠運営

No.33

【委員会運営】

スローガン:一人ひとりが JC の顔、全員で伝道師に

(委員会運営方針)

私は 2026 年度で JC 歴 7 年になります。これまで副委員長や委員長、公益社団法人日本青年会議所への出向など、様々な経験を通じて多くの学びを得てきました。そのような中で達成できなかったことが 1 つあります。それは前回委員長を務めた際に、委員会メンバーを十分に巻き込めず、事業当日以外は委員長・副委員長の 2 名で進めることが多く、結果としてメンバーの成長につなげられなかつたことを今でも悔しく思っています。

そこで今回は、過去の反省をいかし、委員会メンバー全員を巻き込み、各自に明確な役割と責任を担ってもらい、共に事業を創り上げる運営を行います。

2026 年度、私は飯塚 JC を卒業します。ラストイヤーに 2 度目の委員長をお預かりする機会をいただいた、このラストチャンスを噛みしめ、委員会メンバーと共に悩み、笑い、真剣に語り合い、一人ひとりの成長を感じられる 1 年にしたいと考えています。その実現のために、2026 年度は委員会運営に全力で取り組みます。

当委員会は、例会式典・総会・広報を通じて組織の根幹を担います。委員会メンバーには活動を通じて、飯塚 JC への愛着を深めてもらい、委員会メンバー一人ひとりが JC の魅力を伝えられる伝道師になれるように運営します。

以下、委員会運営方針を記載します。

1. 委員会メンバーに式典シナリオやスライド、議案に必要な資料、広報に必要な写真・動画の撮影などそれぞれの役割を担ってもらい、責任感を持ってもらう。

2. 式典の厳肅さ、総会の全員参加、広報の意義を節目ごとに確認・共有する。

3. 毎回良かった点・改善点を出し合い、自分の貢献を実感する。

4. 自分の関わった発信が仲間や地域の信頼につながることを知り、JC への愛着を強めてもらう。

5. 出席率や反響など小さな成果も共有し、みんなでやれたという実感を積み重ねる。

6. 各メンバーが自分の役割を通して小さな成功体験を積み重ね、成長を実感できるようにする。

一般社団法人飯塚青年会議所

年間事業フレーム

No	運動 事業名	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月							
		1 W W W W	2 W W W W	3 W W W W	4 W W W W	1 W W W W	2 W W W W	3 W W W W	4 W W W W	1 W W W W	2 W W W W	3 W W W W	4 W W W W	1 W W W W	2 W W W W	3 W W W W	4 W W W W	1 W W W W	2 W W W W	3 W W W W	4 W W W W			
1	会員拡大へつながる入会候補者との交流事業	調査 研究				協議	審議	パートナー 団体打合せ	実施	検証	報告													
2	持続可能な会員拡大の仕組み化と見える化	調査 研究				仕組確立	実施 検証												報告 引継					
3	候補者情報の収集リストのアップデート	調査 研究				仕組確立	収集			検証	収集			検証	収集			報告 引継						
4	準会員へのオリエンテーション	調査 研究				準会員へのオリエンテーションの実施																		
5	VOICEの発刊		2026年度作成担当者 打合せ	調査 研究										2027年度作成担当者 打合せ	ドラフト準備	ドラフト作成 校正 報告	校正完了 引継							
6	プラザーシスター制度の確立とモニタリング	調査 研究			制度の策定	制度の策定 準会員の調査			プラザーシスター制度のモニタリング プラザーシスター制度のブラッシュアップ										制度確立 引継					
7	プラザーシスター制度の実施 アカデミーメンバー(正会員)の育成	調査 研究				現役メンバーへ制度の周知			プラザーシスター制度の実施 アカデミーメンバーの育成												引継			
8	厳粛かつ有意義な式典の企画 設営 実施	調査 研究				例会式典の企画 設営 実施															引継			
9	厳粛かつ厳正な総会計画 工夫を凝らした動員 設営 実施	調査 研究			協議	審議	実施	検証	報告	調査 研究						協議	審議	実施	検証 報告					
10	予算及び決算等の会計業務	引継	当初予算 特別会員	三大行事特別会計 各種大会登録分担金	修正予算	予算の執行								補正予算	予算の執行			決算						
11	1月例総会アワーの企画 工夫を凝らした動員 設営 実施	調査 研究			協議	審議	実施	検証	報告	引継														
12	2月合同例会の企画 工夫を凝らした動員 設営 実施	調査 研究	第2エリア 連携 調整	協議	審議	実施	検証	報告	引継															
13	3月例会アワー企画 工夫を凝らした動員 設営 実施	調査 研究				協議	審議	実施	検証	報告	引継													
14	4月例会アワーの企画 工夫を凝らした動員 設営 実施	調査 研究					協議	審議	実施	検証	報告	引継												
15	5月公開例会アワー企画 工夫を凝らした動員 設営 実施	調査 研究					協議	審議	実施	検証	報告	引継												
16	6月例会アワーの企画 工夫を凝らした動員 設営 実施	調査 研究					協議	審議	実施	検証	報告	引継												
17	7月例会アワーの企画 工夫を凝らした動員 設営 実施	パートナー候補 打合せ 現地調査					討議	協議	審議	事業準備 広報	実施	検証	報告 パートナー報告	引継										
18	8月例会アワー企画 工夫を凝らした動員 設営 実施	調査 研究										協議	審議	実施	検証	報告	引継							
19	9月例会アワーの企画 工夫を凝らした動員 設営 実施	調査 研究										協議	審議	実施	検証	報告	引継							
20	10月例会アワー企画 工夫を凝らした動員 設営 実施	調査 研究										協議	審議	実施	検証	報告	引継							
21	11月例総会アワーの企画 工夫を凝らした動員 設営 実施	調査 研究										協議	審議	実施	検証	報告	引継							
22	Let's TRY 4 VISION ふるさとWish飯塚市 ～彩ろう、ユニークな未来～ 事業	調査 研究	企画 立案	協議	審議	事前準備	実施	検証	報告	ビジョナリーシティ会議 引継						ビジョナリーシティ会議 引継								
23	まちの魅力創新「かまの変」プロジェクト	課題調査					討議	協議	審議	実施 検証 報告														
24	こどもはこのまちの未来だ！宣言 「桂川の虎」の巻事業	事業目的の確立					パートナー団体 具体的な打合せ 事業手法の確立			事業準備 広報						パートナー 報告								
25	国際的ネットワーク創新型事業	課題調査					事前活動			協議			審議	実施	検証	報告	パートナー 報告							
26	新春祝賀会の企画 工夫を凝らした動員 実施	討議	協議	審議	事業手法の確立	事前準備	実施	検証	報告	パートナー 報告														
27	創立記念式典の企画 工夫を凝らした動員 実施	引継	調査 研究					協議	審議	事前準備	実施	検証	報告	引継										
28	忘年会の企画 工夫を凝らした動員 実施	調査 研究										協議	審議	事前準備	実施	検証	準備	実施	検証	報告	引継			
29	各種大会(ASPAC、世界会議除く)への参加促進 企画 運営	LOMメンバーの各種大会 周知 参加意識調査	京都会議参加者募集 アナウンス 各種手配	京都会 議		サマコン 調査	サマコン参加者募集 アナウンス 各種手配	全国大会 調査	サマコン	全国大会参加者募集 アナウンス 各種手配	全国大 会	引継												
30	ASPAC、世界会議への参加促進 企画 運営	ASPAC調査					ASPAC参加者募集 アナウンス 各種手配	A S P A C		世界会議 調査	世界会議参加者募集 アナウンス 各種手配	世界会 議	引継											
31	飯塚JC全体で取り組む会員拡大	持続可能な会員拡大の仕組み実施 候補者情報の収集提供 プラザーシスター制度のモニタリング実施 協力依頼																						
32	飯塚JCの魅力を発信！SNSやHPによる広報活動	調査 研究					SNSやHPによる広報活動																	
33	飯塚JCで支える山笠運営	山笠担当者 連絡調整 会議等への協力										実施	山笠担当者 連絡調整 会議等への協力											